

1 施策の概要	
4つの柱	1 地域活性化モデルケースの伸展
概要	<p>国の地域活性化モデルケースに選定された「超高齢化・人口減社会を克服するスマートウエルネス都市」の地方都市型のまちづくりモデルとして、過度の車依存から脱却し、歩いてくらせるまちづくりを実現するため、都市機能の集約と公共交通網の整備等を中心に、人口が減少しても持続できるまちづくりを進めます。</p> <p>実施のポイントは都市全体の持続に向け、市街地においては生活サービス機能や居住を計画的に集約するとともに、周辺地域では適正な生活圏を設定した上で日常生活やコミュニティ活動が持続できる環境を整えます。また、中心市街地の活力と賑わいの回復、各拠点間のネットワークを図るための地域公共交通の再構築、高齢となっても地域で安心して暮らせるための医療・介護体制のための地域包括ケア体制の構築、地域コミュニティの維持と空き家等の既存資産の有効活用、スマートウエルネス住宅の普及によりライフステージに応じた最適な住環境を選択できる総合的な住み替え施策を進めます。</p>

2 主要施策の達成状況								
主な指標名	単位	基準値	目標値	評価	実績値（直近3か年）			
		(H27)	(R2)		H29年度	H30年度	R1年度	
(1) コンパクトシティの形成と誘導／持続可能な集落地域づくり								
① ふるさとセンター設置数（全11か所）	地区	9	11	◎達成済み	10	11	11	
② 立地適正化計画の策定	計画	—	策定	◎達成済み	—	居住誘導区域設定	地域コミュニティ設定	
(2) 地域公共交通の整備								
③ コミュニティバス利用者数	人	123,000	200,000	△向上維持	161,458	182,155	184,647	
④ 乗合いタクシー利用者数	人	3,000	3,500	◎達成済み	2,876	3,382	3,892	
(3) 中心市街地の活性化								
⑤ コミュニティ銭湯の集客数	人	—	240,000	△向上維持	198,221	199,902	196,303	
⑥ まちなか賑わいイベントの参加者数	人	18,000	20,000	◎達成済み	25,934	26,798	33,530	
(4) 地域包括ケアシステムの構築								
⑦ 脳の健康教室参加者数	人	100	120	×未達成	69	63	61	
⑧ 認知症サポーターの数	人	250	350	◎達成済み	214	471	442	
(5) 総合的な住み替え施策の推進								
⑨ 首都圏からウエルネスタウンへの移住者数（H30からの累計）	件	—	5	×未達成	—	0	0	
⑩ 新築住宅の取得に対する補助金申請件数	件	10	35	◎達成済み	47	43	55	

主要施策の成果分析	<p>市街地においては、まちなかの活性化と利便性の向上を図り、H28年8月にオープンした「ほっとぴあ」は、新型コロナの影響もありR1目標の20万人に届かなかったものの、利用者増と商店街の活性化に好影響を与えた。また、周辺地域では地域コミュニティの活動を中心に日常生活や交流が持続できる環境を推進すると共に、拠点間のネットワークとしてコミュニティバスやデマンドタクシーなどにより、生活を支える公共交通を整え、利用者も増加傾向である。</p> <p>また、高齢者になっても安心して生活できるよう市内4カ所に設置した地域包括支援センターを中心に、地域包括ケア体制を確立し、認知症サポーターや介護ボランティアなどの地域の支えとなる方々の育成を推進した。</p> <p>地域の魅力発信や生活の利便性などの向上を図ると共に、住み替え施策や住環境の向上を促進するなど、市外からの転入者の増加に繋がった。</p>
-----------	--

3 主な指標への取り組みと成果	
① ふるさとセンター設置数	<p>取5り年組間みの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28 まちなか東コミュニティに、ふるさとセンター設置。・H30 西地区スマイルコミュニティに、ふるさとセンターを設置し、市内全域でふるさとセンターを整備した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ組織が機能的に活動できる拠点としてふるさとセンターを設置し、環境整備を行ったことにより気軽に立ち寄れる地域のお茶のみ場として活用できる状態になった。
③ コミュニティバス利用者数	<p>取5り年組間みの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28、R1に小型バスを1台ずつ増車（5台→7台）。H29より市内にバス車庫を整備し供用開始。R1より22:00台の深夜便を運行。・新規バス停をH29に1箇所、R1に2箇所増設。R1よりバス停サインの統一化を図り停留所の視認性を高めた。・ガラスを使用した高規格バス停上屋を市内11箇所に整備。上屋が設置できない箇所には健康ベンチを設置。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、着実にコミバス利用者が増加（118,044人→184,647人）・H29以降、目標値の達成までには至っていないが、減少に転ずることなく、利用者数は右肩上がりとなっている。
⑤ コミュニティ銭湯の来客数	<p>取5り年組間みの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と営況について協議・情報共有を行いながら課題解決やサービス向上に努めた。 ・地域コミュニティの事業に協賛する等、まちなか賑わいに資するよう努力している。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標を下回っているものの、入場者数は毎年増加してきている。・コロナの影響により3月の入場者数が前年同月と比べ△6,525人と大幅に減少したため、年間の利用者数も196,303人となり、昨年度と比較して3,600人減少した。
⑦ 脳の健康教室参加者数	<p>取5り年組間みの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公文教育研究会の学習療法を取り入れた教室を実施。 ・参加者同士や学習サポーターの交流も重視。 ・利用者拡大を目的に健幸フェスタでの模擬教室開催や、広報みつけ等を利用し、情報拡散に努めた。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施前後のMMSE（認知機能検査）の変化として、440名の一般高齢者のうち、改善が76%、維持が11%、全体で約90%の方が維持及び改善の結果が出ている。・週一回の教室に通うことで閉じこもりやうつ予防になっている。
⑨ 首都圏からウエルネスタウンへの移住者数（H30年度からの累計）	<p>取5り年組間みの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29より見附サポーターやネスパスにチラシを配布。東京駅構内でデジタルサイネージを活用した広告を掲示・例年8月のお盆時期に、首都圏からの帰省者向けの現地見学会を実施・H30より東京で開催される移住相談セミナーに参加し、PR活動を実施（これまで3回参加） <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏向けのPRやセミナー参加等の販促活動は継続しているが、目標値の達成には至っていない。・また、移住するにあたっての課題は、見附周辺で職に就けるかどうか、仕事の探索や面接など、見附まで何回か足を運ぶ必要があり、その交通費等を補助する仕組みの検討が必要。

4 施策別 達成状況		【◎○△の合計の割合は、79.2%（38/48）】			
◎達成済み	23 KPI	47.9%	▼数値低下	1 KPI	2.1%
○達成見込	2 KPI	4.2%	×未達成	2 KPI	4.2%
△数値向上・維持	13 KPI	27.1%	□未評価	7 KPI	14.5%

1 施策の概要	
4つの柱	2 人が育ち人が交流するまちづくり
概要	<p>結婚、出産、子育て、高齢者など幅広い年代に対する施策と、人が交流し支えあうまちづくりに必要な共助や教育といった分野の施策、これまで進めてきた健幸施策を推進していきます。</p> <p>実施のポイントは、子ども達のふるさとを愛する心を育み、結婚・出産・子育ての希望がかなう支援を行います。また、人と人の結びつきを大切に、共助できるコミュニティづくりを推進するとともに、健康保持に対する自助努力が拡大するよう、必要な各施策を推進します。これらの施策を促進することにより、全ての世代が暮らしやすいまちづくりを進めます。</p>

2 主要施策の達成状況								
主な指標名	単位	基準値	目標値	評価	実績値（直近3か年）			
		(H27)	(R2)		H29年度	H30年度	R1年度	
(1) ふるさとを愛する子どもの育成（共創郷育の推進）								
① 自分の住んでいる地域が好きな子どもの割合	%	90	90	◎達成済み	95	96	94	
② わくわく体験塾への児童参加率	%	150	150	◎達成済み	190	200	230	
(2) 結婚、出産、子育ての切れ目のない支援								
③ 出生数の維持	人	300	300	×未達成	270	239	238	
④ 放課後児童クラブ登録数	人	300	300	◎達成済み	398	394	441	
(3) 高齢者がいきいき暮らせるまち								
⑤ 悠々ライフ参加延べ人数	人	6,000	6,000	◎達成済み	6,292	6,907	7,048	
⑥ 市役所業務におけるシルバー人材請負金額	千円	65,317	66,500	◎達成済み	70,000	80,000	76,272	
(4) ソーシャルキャピタルが高いまち								
⑦ コミュニティ組織立ち上げ数	地区	9	11	◎達成済み	11	11	11	
⑧ 青少年ボランティアバンクの登録者数	人	241	250	△向上維持	174	199	238	
(5) 健幸を理解して行動する市民の増加								
⑨ 健康運動教室参加者数	人	1,500	2,000	×未達成	1,395	1,378	1,351	
⑩ 介護認定率の伸びの抑制	%	17.2	19.2以下	◎達成済み	17.1	17.7	17.6	

主要施策の成果分析	<p>子ども達の「ふるさとを愛する心」、「世に役立つことを喜びとを感じる心」の育成を目標に掲げ、「共創郷育」の理念のもと、学校と家庭、地域の連携を強化するなどを行うことによって、郷土愛を持った子ども達の割合が増加した。また、夏休みに学校や学年の垣根を越えて、行政、地域、企業やNPO法人が子ども達に様々な体験を提供する「わくわく体験塾」は、事業数、児童参加率ともに大幅に向上した。</p> <p>結婚、出産、子育てへの支援は、健診費や医療費の経済的な支援、「妊娠・出産・育児」を包括的に支援する「ネウボラみつけ」の立ち上げ、妊産婦への支援や「放課後児童クラブ」の充実を図り、環境整備を行った。一方、結婚支援策や不妊・不育症治療費の助成を行うなど包括的な取り組みを行うものの、出生数の維持には繋がらなかった。</p> <p>また、人生100年時代と言われる中、高齢者の生きがいや地域コミュニティを中心とした交流を通じて、ソーシャルキャピタルを高めるとともに、雇用機会の充実や健康への取り組みを促すなど、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう環境を整えた。</p>
------------------	---

3 主な指標への取り組みと成果				
① 自分の住んでいる地域が好きな子どもの割合				
		取5 り年 組間 みの	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な活動のある学校は継承する活動を、そうでない学校は新たな取組を探るなど、各校とも特色ある教育活動を推進。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各校とも特色ある教育活動を推進し、効果をあげている。 ・伝統的な活動を担うことが目的となると、活動の幅が狭まるので、活動の意義について学校と地域とで継続して共有することが必要。 	
③ 出生数の維持				
		取5 り年 組間 みの	<ul style="list-style-type: none"> ・健診費や医療費の助成を行い、経済的な支援を行った。 ・H28.5「妊娠・出産・育児」の包括支援を担う「ネウボラみつけ」を立ち上げ、妊産婦への支援を強化した。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、出生数が目標の300人を下回り、乖離も拡大しているが、出生率は2018年（1.32）から2019年（1.39）で若干改善している。 ・専門的な支援が必要なケースは、出生数と反比例し増加傾向である。今後も「ネウボラみつけ」を中心に、妊娠・出産・育児の支援を継続していく必要がある。 	
⑤ 悠々ライフ参加延べ人数				
		取5 り年 組間 みの	<ul style="list-style-type: none"> ・定年を迎え第二の人生に入った方々に新しい生きがいづくり、仲間づくりの場所を提供。 ・様々な行事を企画し多くの層に参加を促した。 ・年度末に新たに65歳となったかたを対象にPRのチラシを配布。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年多くの高齢者から参加をしてもらい生きがいづくりに貢献することが出来ている。 ・活動に理解をいただき仕掛人として参加してくれる方が増加し、対応可能行事が増加している。 	
⑦ コミュニティ組織立ち上げ数				
		取5 り年 組間 みの	<ul style="list-style-type: none"> ・H28 まちなか東コミュニティが設立 ・H30 西地区スマイルコミュニティが設立し市内全域でコミュニティ組織の設立が終了した。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のことは自分達で考える共助の仕組みを構築し、地域文化の存続と持続可能な集落・地域づくりを推進する組織が市内全域で設立された。 	
⑨ 健康運動教室参加者数				
		取5 り年 組間 みの	<ul style="list-style-type: none"> ・ネーブルみつけ、武道館のいきいき健康づくりセンターをはじめとした市内17会場で教室開催した。 ・ネーブルみつけ、武道館、今町ふれあいプラザでは夜間の教室も開催している。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年100人程度の新規参加者が教室に参加し、H14年からの事業開始から3,700人余りの中高年層の市民が健康運動教室に参加し、健康づくりについて実践している。 ・また、H29から開始した健幸ポイントには、1,529名の参加がある。 	

4 施策別 達成状況 【◎○△の合計の割合は、68.2%（30/44）】					
◎達成済み	17 KPI	38.6%	▼数値低下	3 KPI	6.8%
○達成見込	1 KPI	2.3%	×未達成	7 KPI	15.9%
△数値向上・維持	12 KPI	27.3%	□未評価	4 KPI	9.1%

1 施策の概要	
4つの柱	3 産業が元気で活力あるまちづくり
概要	<p>地域経済や産業全体が元気で活力を取り戻すことにより、雇用の確保や若者の定住につながる施策を進めます。労働人口の減少が深刻となる中、地場産業の振興や後継者の確保を進めるとともに、付加価値の高い産業を目指します。</p> <p>実施のポイントは、当市の地域を支える既存産業の戦略的な発展、創業や事業継続の支援、新たなビジネス創造による地域経済の活性化と、これに伴う雇用の創出により安心して働ける環境を整備するよう各施策を推進します。また、大学、企業との連携による産業や雇用の創出、世代を問わず誰もがいつでも働けるための雇用のマッチングを進めます。</p>

2 主要施策の達成状況								
主な指標名	単位	基準値	目標値	評価	実績値（直近3か年）			
		(H27)	(R2)		H29年度	H30年度	R1年度	
(1) 見附型地域産業の創生								
① 製造品出荷額等	億円	910	960	◎達成済み	1,016	1,067	1,119	
② パティオ農産物会員販売の売上	百万円	93	108	◎達成済み	104	109	113	
(2) 企業の拠点強化								
③ 産業団地の雇用に対する地元就労率	%	35	40	◎達成済み	40	42	44	
④ 新規雇用数	人	50	50増	△向上維持	43増	55増	41増	
(3) 産業活性化のための連携強化								
⑤ 農業参入企業数（6年間の累計）	社	0	2	×未達成	0	0	0	
⑥ 企業・異業種交流会の開催回数	回	3	3	◎達成済み	3	3	3	
(4) だれもがいつでも働ける環境の整備								
⑦ 高齢者雇用のマッチング数	人	—	120	○達成見込	—	—	89	
⑧ 新規学卒者研修会参加者数	人	30	40	△向上維持	29	24	35	
(5) 雇用の質の確保、量の確保と拡大								
⑨ 起業・創造塾の修了者数（6年間の累計）	人	10	60	◎達成済み	61	67	78	
⑩ 認定農業者数	人	240	290	▼低下	262	260	260	

主要施策の成果分析	<p>見附が有する素材や人材といった地域資源を最大限に生かし、中でも基幹的な地域産業である繊維産業への支援や情報発信などを行うと共に、アウトレットショップ「プリメイラ」やネーブルみつけの「みらい市場」、インターネットショッピングモール「どまいち」のリニューアルを図るなど合わせ「パティオにいがた」の地元農産物販売の更なる充実を図り売上増加に繋がった。また、中部産業団地の分譲完了や事業操業により、経済効果と地域雇用の促進や若者の定住促進に寄与した。</p> <p>産業活性化については、既存企業と進出企業間の交流や産官学金の連携を強化するため「技術懇談会」を開催・情報提供するなど産業の創出を図った。</p> <p>また、働く場の充実については、「みつけ生涯現役促進協議会」を立ち上げ、55歳以上の高齢者が持つ豊富な経験・技術を活かし、ライフスタイル・能力に合わせた多様な雇用・就業機会を創出し、企業の人材不足の解消、高齢者が生涯に渡って活躍できる地域を目指し、企業と就業希望者のマッチングを図り、労働人口の確保や経済活性化に寄与した。観光面は、施設の充実を図ると共に、他市と広域連携での情報発信をするなどし、観光客の増加に繋がった。</p>
-----------	---

3 主な指標への取り組みと成果				
① 製造品出荷額等				
		取5 り年 組 み の	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業事業者に対して、設備投資応援補助金を交付し、企業の設備の高度化と生産拡大を支援した。・また、繊維産業の担い手不足を解消するため、財政支援を行い、ニット塾を開催した。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・製造品出荷額全体を見るとH28年度に目標金額を超え、以降も順調に増えてきている。・また繊維工業品出荷額を見ると、116億円（平成29年度）と前年と比べても約5億円減少しており、平成10年代の製造品出荷額には届いていないのが現状である。引き続き、繊維産業の担い手確保等の対策が必要である。 	
③ 産業団地の雇用に対する地元就労率				
		取5 り年 組 み の	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職及び定着を図るため、新人社員合同研修会の開催や、3月の就職活動解禁に合わせ「新卒者向け」市内求人情報の発信を行った。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度以降、毎年目標値を達成できており、引き続き地元採用者数の増加に努めたい。・また市内企業の魅力をより発信するため、「新卒者向け」市内求人情報の掲載企業数・ページ数と配布先をそれぞれ増加させ、さらなる市内企業への就職及び定着を図る必要がある。 	
⑤ 農業参入企業数（6年間の累計）				
		取5 り年 組 み の	<ul style="list-style-type: none"> ・農業参入を希望する企業に対して、農地利用について農業委員会を紹介、転作事業等の施策との整合性について助言を行っている。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は1企業であるが、参入できていない。・また、農業参入を考える企業に対して、参入する方法別にポイントを整理し、説明・相談できる体制の整備が必要である。 	
⑦ 高齢者雇用のマッチング数				
		取5 り年 組 み の	<ul style="list-style-type: none"> ・みつけ生涯現役促進協議会の取り組みにより、市内企業に高齢者雇用の啓発活動を実施。業務整理による仕事の創出や雇用環境の整備を促した。・高齢者側へのアプローチとして、ビジネススキルアップ講座やインターンなどを通じて高齢者と企業のマッチングを図った。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が働くことを支援する高齢者支援メニューへは延べ172人が参加。企業が雇用することを支援する事業主支援メニューへは延べ30社が参加。高齢者と企業をつなぐことを支援するマッチング支援メニューへは延べ311人の参加があり、89人が25社へ就業した。 	
⑨ 起業・創造塾の修了人数（6年間の累計）				
		取5 り年 組 み の	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士の講師を招聘し、起業に必要な基礎知識やノウハウを学べる連続講座を開催。 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に目標の修了者数は達成しており、以降も順調に参加者が増えている。・起業創業の件数も順調に増えており、引き続き支援を行っていく。 	

4 施策別 達成状況				
【◎○△の合計の割合は、86.1%（31/36）】				
◎達成済み	17 KPI	47.2%	▼数値低下	4 KPI 11.1%
○達成見込	4 KPI	11.1%	×未達成	1 KPI 2.8%
△数値向上・維持	10 KPI	27.8%	□未評価	0 KPI 0.0%

1 施策の概要	
4つの柱	4 選ばれるまちづくり
概要	<p>安心して暮らせる住みやすい住環境や特徴のあるまちづくりによる見附市の魅力を発信し、人口減少社会にあっても定住先として選ばれ、住む人が心豊かに暮らし続けられるまちを目指します。</p> <p>実施のポイントは、医療・介護・福祉分野や災害に強いまちづくりの更なる充実、賑わいのあるまちを再生して安全安心で心地よいまち・環境づくりを推進します。また歩いて暮らせる健幸のまちや地域の絆と交流のあるまちづくりといったこれまでの特性を更に進展させるまちづくりを推進します。</p> <p>これらを促進していくことに加え、スマートウエルネス住宅の拡大やU・Iターンを誘導する各種支援施策、また優れた定住環境を内外に情報発信することにより、移住や定住において当市が選ばれる魅力あるまちづくりを目指します。</p>

2 主要施策の達成状況								
主な指標名	単位	基準値	目標値	評価	実績値（直近3か年）			
		(H27)	(R2)		H29年度	H30年度	R1年度	
(1) 安心して生活できる豊かな住環境								
① 救急車の病院搬送時間	分	40	40	◎ 達成済み	40.0	39.4	39.7	
② 医療・介護の地域連携紹介・逆紹介患者数の増加	紹介 逆紹介	908 1,112	950 1,200	◎ 達成済み	1,366 941	1,433 1,291	1,605 1,333	
(2) 身近な自然と利便性が調和するまち								
③ 景観活動・イベントの参加人数	人	21,500	23,500	◎ 達成済み	29,825	36,273	33,948	
④ 公共交通空白地域の解消率	%	88	92	◎ 達成済み	89	91	92	
(3) 歩いて暮らせる健幸のまち								
⑤ バリアフリー化された歩道延長	km	38.0	39.5	△ 向上維持	37.8	38.8	39.2	
⑥ ゾーン30エリアの設定数	エリア	2	3	◎ 達成済み	3	4	4	
(4) 地域の絆と交流のあるまち								
⑦ 消防団員定数に対する団員の充足率	%	98	98	▼ 低下	95	93	93	
⑧ 見附さぼーたの人数	人	950	1,040	◎ 達成済み	1,068	1,242	1,484	
(5) 住み続けたいまち（移住と定住）								
⑨ 助成対象同窓会への参加者数	人	650	690	× 未達成	150	242	175	
⑩ 移住に関する問い合わせ（6年間累計）	件	5	30	◎ 達成済み	16	51	80	

主要施策の 成果分析	<p>だれもが安心して生活できるよう、医療環境の体制整備や介護サービスの量と質の充実を図ると共に、自主防災組織による共助の充実を図るなど、災害に強いまちづくりを進めた。</p> <p>また、歩きやすい快適な歩行空間のためバリアフリー化された歩道の延長や歩行者の安全確保のためゾーン30のエリア設定箇所を広げるなど、健幸都市の社会インフラの整備を推進した。一方で、公共交通インフラは、民間バスの廃線への対応として、新たな地域にデマンドタクシーを利用できるようにするなど公共交通空白地域の解消を図った。</p> <p>移住や定住の促進を図るため、U・Iターン者への各種補助制度、30歳同窓会の実施による交流・きっかけ作り、ウエルネスタウンみつけの整備や情報発信などにより、市外・県外からの転入者の増加に繋がった。また、見附市を離れて暮らす出身の方々や応援者で構成される「見附さぼーた」との交流会を開催するなど交流の場の提供に努めた。</p>
---------------	--

3 主な指標への取り組みと成果	
① 救急車の病院搬送時間	<p>取5 り年 組間 みの</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な観察及び救命処置を行い、迅速に医療機関に搬送した。 重篤な傷病者には、ドクターヘリを要請し、医師の早期現場投入を図った。 遠距離医療機関への搬送は高速道路を使用し搬送時間の短縮に努めた。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関までの目標搬送時間40分以内を継続している。 市外医療機関への救急搬送が6割を超え、増加している。 救急出動件数が年々増加している。 精神科疾患の救急搬送に時間を要する。
③ 景観活動・イベントの参加人数	<p>取5 り年 組間 みの</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントの内容や運営状況、参加者の満足度等を毎年振り返って改善し、親しみながら緑化意識の向上につながるイベントや講座を開催した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 天候等に左右されるが各公園ごとのイベントが定着してきたこと、毎年改善しながら開催したことで全体の参加者数は目標値を達成している。 市内だけでなく市外からの参加者を増加することができた。
⑤ バリアフリー化された歩道延長	<p>取5 り年 組間 みの</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩きやすく快適な歩行空間の整備のため、通学路を中心に歩道整備事業を推進した。 三林坂井線・柳橋傍所線・学校町南本町線・今町新潟線・坂井柳橋線の一部で歩道を設置し、今町新潟線では歩道用橋梁を設置した。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道について、H30までに1.0km区間で整備し、R1には0.35km区間で新たに整備された。 歩きやすい歩行空間が整備されて増えることにより、歩行者の安全性を高めている。
⑦ 消防団員定数に対する団員の充足率	<p>取5 り年 組間 みの</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火衣や網上げ靴等、消防団員の装備の改善、充実を図った。 R元年度に年報酬の見直しを図り、団員の処遇改善に努めた。 新入団員の勧誘活動を支援し、団員の確保に努めた。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善、装備充実を図り、活動環境の整備に努めたものの、目標とする充足率を維持できなかった。 また、少子高齢化の進展や被用者の増加等、消防団を取り巻く環境の変化により、更に団員の確保が困難となることが懸念される。
⑨ 助成対象同窓会への参加者数	<p>取5 り年 組間 みの</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内飲食店での制度チラシの配布や図式化した制度のフローを市HPへの掲載するなど制度周知を実施。その他、開催経費の概算払いを可能とするための制度変更や『30歳同窓会』実行委員会の負担軽減を目的に対象者への事業周知を市で行うなど各種改善に努めた。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助制度フローの図式化によるPRや開催経費の概算払い対応などの改善の結果、2件の補助申請と同窓会の実施につながった。 30代同窓会については、市の住宅補助や企業情報等を普段届けられない世代に向けて発信でき、定住PRを行うことができた。

4 施策別 達成状況		【◎○△の合計の割合は、79.0%（34/43）】			
◎達成済み	20KPI	46.5%	▼数値低下	6KPI	14.0%
○達成見込	2KPI	4.6%	×未達成	3KPI	7.0%
△数値向上・維持	12KPI	27.9%	□未評価	0KPI	0.0%